

「兵庫県南西部におけるムラサキツバメの現況(その1)」の補足と正誤表について

《補足》

9. さいごに

偶然の出会いから、この蝶の現況について記すことになったが、相生市矢野町三濃山々麓のように生息環境の破壊にも負けず、今日までも長らえてきたムラサキツバメの生命力に敬意を払いたい。そしてこの播磨の地から蝶影が消えないことを願って筆をおく。

10. 参考文献

- 1) 米村和繁 (1966) 相生市におけるムラサキツバメの採集例
昆虫と自然 1(8):12
- 2) 岩村 巖 (1968) 西播の蝶分布資料(5) 赤相の蝶類
兵庫生物 5(5):392
- 3) 川崎悟良 (1979) 相生市の蝶
ひろおび (4):24
- 4) 唐土洋一 (1981) 西播におけるムラサキツバメの新産地
てんとうむし (7):19
- 5) 勝屋 潤 (1985) 宍粟郡波賀町のムラサキツバメの記録
きべりほむし 13(1):13-16
- 6) 広畑正己 (1987) 兵庫県産蝶類分布資料(4)
てんとうむし (10):17
- 7) 北村四郎他 (1971) 原色日本植物図鑑本編〔Ⅱ〕保育社、大阪
- 8) 福田晴夫他 (1972) 原色日本昆虫生態図鑑(Ⅲ)保育社、大阪
- 9) 中西 哲 (1977) 播磨西部地域植生調査報告書
播磨西部地域植生調査研究会、神戸
- 10) 竹束 正 (1979) 四国の蝶 日本鱗翅学会四国支部、高知
- 11) のじぎく文庫 (1981) 播磨の植物 神戸新聞出版センター、神戸
- 12) 福田晴夫他 (1984) 原色日本蝶類生態図鑑(Ⅲ)保育社、大阪

《正誤表》

P. 32 上から10行目

手ずかみ → 手づかみ

表

4	—	—	—	—	弱令時に死亡
5	—	—	—	—	弱令時に死亡

↓

4	—	—	—	—	若令時に死亡
5	—	—	—	—	若令時に死亡

P. 33 下から7行目

弱令期 → 若令期

P. 34 上から2行目

弱令期 → 若令期

上から4行目

弱令幼虫 → 若令幼虫

上から13行目

弱令幼虫 → 若令幼虫

上から14行目

弱令期 → 若令期

上から22行目

鍛冶屋谷 → 鍛冶屋谷

表

9月			10月			11月	
上	中	下	上	中	下	上	中
◎						◎	

↓

9月			10月		
上	中	下	上	中	下
◎	◎				

P. 35 上から6行目

弱令期 → 若令期

上から15行目

二種類 → 2種類

上から24行目

濃山鍛冶屋谷 → 濃山鍛冶屋谷